

国際公共政策専攻(博士前期課程)

専門基礎科目(専攻共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DF003	国際公共政策リサーチ・ワークショップ	8	2.0	1・2	通年	応談		国際公共政策専攻全教員	研究関心や着想を修士論文のテーマ設定に結び付け、かつ、研究倫理を踏まえて、自立的に研究プロセスを管理する能力及びリサーチデザイン能力の育成を図るため、複数教員との間で定期的に意見交換を行う。	

基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DF101	国際公共政策の政治学	1	2.0	1					政治学の視点から研究・論文執筆を行う大学院生を対象に、研究や論文執筆の基本的な方法について指導する。	2020年度開講せず。国際関係分野の学生は、「国際公共政策の政治学」、「国際政治経済学I」、または「国際政治経済学II」必修。
01DF102	社会学基礎理論	1	2.0	1・2	春AB秋AB	水5	3K220	社会学分野全教員	社会学の基礎理論を広く学ぶと共に、社会学という分野において各自の問題を立て、データを集め、考察し、論文にまとめるという一連の作業を進めるためのトレーニングを行う。	社会学分野の学生は必修。
01DF103	国際政治経済学I	1	2.0	1					国際政治経済学に関する各専門分野において、研究倫理を踏まえて、高度な研究を推進し得る基礎的能力を開発し、グローバルな公共政策上の課題に対して多様な視点から対応策を提示できる柔軟な思考力を育成することを主な目的とする。	2020年度開講せず。国際関係分野の学生は、「国際政治経済学I」、「国際政治経済学II」、または「国際公共政策の政治学」必修。
01DF104	国際政治経済学II	1	2.0	1・2	春AB	金4,5	3K326	中村 健史	This course aims at fostering student's understanding of International Political Economy/International Relations by giving basic knowledge on theories and histories International Political Economy/International Relations. After the completion of this course, students will be able to critically evaluate different theoretical approaches to International Political Economy/International Relations and put their research topics in the context of discourses of International Political Economy/International Relations. Upon which discipline this course is to put emphasis will be determined based on the student's research topics.	英語で授業。国際関係分野の学生は、「国際政治経済学I」、「国際政治経済学II」、または「国際公共政策の政治学」必修。
01DF107	国際公共政策論	1	1.0	1・2	春AB	水2	3K220	赤根谷 達雄, 関根久雄, ウラノ エジソン, ヨシアキ, 柏木 健一, 東野 篤子, 鈴木 創, 五十嵐 泰正	国際的価値の実現と国内的価値の保護との葛藤という現実的な課題に社会科学の立場から深く取り組み、国際社会における普遍的価値の理解を踏まえ、国際的な公共の利益に資するための最適な処方や有意義な提言を行うための思考力や研究能力を養成する。特に、政治学、社会学、国際関係論、政治経済学の分析視角から公共政策の実践と参画について深く考察する。	OAA3010と同一。

専門科目(講義科目) 国際関係分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DF205	国際公共政策とグローバル政治理論	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		南山 淳	特に批判的国際関係理論の近年の研究動向を踏まえ、グローバルな統治構造が国際公共政策に与える影響について理論的に検討する。	西暦偶数年度開講。
01DF207	国際政治史I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		松岡 完	20世紀、とりわけ冷戦期における国際政治の歩みについて、米ソ関係、大国と小国あるいは植民地との関係、国連の活動、紛争と平和など多岐にわたる視点から検討する。	西暦偶数年度開講。
01DF211	比較政策規範論I	1	2.0	1・2	春AB	月5,6	3K325	コーヴェルチャールズ	This course focuses on normative dimension of public policy issues with specific reference to issues in the area of government and public administration.	西暦偶数年度開講。01DZ516と同一。英語で授業。
01DF213	アメリカ政治論I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		鈴木 創	選挙と政策形成を中心に現代アメリカ政治の基本的な構造を考察するとともに、アメリカ政治分析の手法に関する入門的トレーニングを行う。	西暦偶数年度開講。
01DF215	政治過程論	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		竹中 佳彦	政治過程論の基本的な理論を講義し、基本的文献の講読も行いながら、政治学や現代日本政治に対する理解を深める。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DF293	計量分析IIB	1	1.0	1・2	春AB	水2	8B201	崔 宰栄	計量分析は、溢れる情報からの物事の意味付け、簡略化、客観化、推定等のため、多くの分野で用いる分析ツールの1つである。この授業では、分析データの調査方法と、計量分析ツールを正しく使うための基礎統計や使い方について講義する。そのため、日本社会と計量分析1Aで学んだ知識(基礎集計、記述統計)を土台とし、関連分析(相関分析、回帰分析)を中心とした、計量分析の入門的な概念を理解し、発展させる。	01DP567, 01DR121と同一。
01DF297	公共政策論IIB	4	1.0	1・2	春AB	応談		川崎 レスリー タック	The main goals of this course are to introduce students to the major theoretical streams in public policy and policymaking, as well as explore practical approaches to public policy.	Thu. 4 西暦偶数年度開講。 01DP729, 01DR119, 01DZ544と同一。 英語で授業。
01DF403	国際安全保障論I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		赤根谷 達雄	国際関係論の基本概念や諸理論・諸パラダイムをマスターした上で、その中心的課題である国際安全保障問題、アジアと日本の安全保障、新しい安全保障の課題等について、学術的・体系的に学ぶことになる。	西暦偶数年度開講。
01DF412	ロシア・東欧の国際関係I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		中村 逸郎	本講では、ロシアを中心に旧ソ連構成国と東欧諸国の国際関係について考察します。ロシアはエネルギー資源を用いて周辺諸国にたいして外交攻勢をかけていますが、その一方でこれらの国々はロシアにたいする反発を強めています。こうした実態について、ロシア語と日本語の文献を読みながら分析していきます。	西暦偶数年度開講。
01DF414	ヨーロッパ国際関係論I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		東野 篤子	欧州連合(EU)および北大西洋条約機構(NATO)などを中心としたヨーロッパの機構と、それらをめぐるヨーロッパの国際関係、その理論枠組みなどについて考察する。文献のレジュメ発表を中心とするため、詳しくは履修者と相談の上決定する。	西暦偶数年度開講。 01DZ525と同一。
01DF416	中国政治外交論I	1	2.0	1・2	秋AB	応談		毛利 亜樹	21世紀初頭の東アジアは経済相互依存が進展する一方で、力の分布が変化しているといわれています。この国際環境における中国の台頭と関係国の反応について、英語及び中国語の文献を読みながら分析します。	西暦偶数年度開講。 01DQ354と同一。
01DF422	国際法I	1	2.0	1・2	秋AB	応談		吉田 脩	国際法と国家の一般理論に係る諸問題を取り上げる。テキストとして、Hans Kelsen, General Theory of Law and State (1946)その他欧語論文等を扱う。	西暦偶数年度開講。 履修希望者は担当教員と連絡をとること。
01DF501	国際文化論I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		前川 啓治	文化接触から派生する事象を、「エージェンシーとインターフェイス」という観点から総合的に捉える方法論と枠組みの展開を論じる。	西暦偶数年度開講。
01DF503	開発人類学I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		関根 久雄	社会開発など途上国において生起する近代的諸現象に関わる開発学的及び人類学的諸研究を取りあげ、理論的な研究と共に、応用(実践)的に関与する人類学の可能性と方向性について議論する。開発人類学演習IIとあわせて受講すること。	西暦偶数年度開講。
01DF505	文化変動論I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		鈴木 伸隆	最新の研究動向を視野に入れながら、文化変動に関する諸問題を具体的に考察する。文化変動論演習と併せて受講すること。日本語で講義を行う。	西暦偶数年度開講。
01DF547	国際金融と政策	1	2.0	1・2	春AB	金5,6	3A212	モゲス アブ ギルマ	The course is an advanced theory and application of international finance theory and policy for graduate students. The main topics for discussion include real business cycle theory, global imbalances, exchange rate determination, short term and long run adjustments to trade flows, sovereign debt and default risks, determinants of international capital flows and multinational production, and international financial policy and coordination.	01DZ656, 0ABC407と同一。 英語で授業。
01DF592	日本と国際政治IIA	3	1.0	1・2	春AB	火5		大友 貴史	This course explores conflict and cooperation among Asian countries involving political, military, economic, and cultural issues.	西暦偶数年度開講。 01DR470, 01DZ532と同一。
01DF593	日本と国際政治IIB	2	1.0	1・2	秋AB	木4		大友 貴史	This course explores conflict and cooperation among Asian countries involving political, military, economic, and cultural issues.	西暦偶数年度開講。 01DR471, 01DZ533と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DF599	計量経済学I	1	1.0	1	秋C	火5,6	3A305	ユウ ゼンフェイ	This course is the first half of an introduction to Econometrics. We will begin with the linear regression model and its estimation and inference. Then we will introduce linear models with endogeneity. In addition to analytical exercises, students will receive practical questions requiring analyzing data using statistical software package Stata.	01DZ602と同一。 英語で授業。
01DF600	計量経済学II	1	1.0	2	春A	火3,4	3B406	ユウ ゼンフェイ	This course is the second half of Econometrics. It covers instrumental variable regressions, linear panel models, limited dependent variables, and popular methods in program evaluations.	01DZ603と同一。 英語で授業。
01DF604	アジア政治論A	1	1.0	1・2	春AB	火6		茅根 由佳	本講義では、多様性に富んだ現代東南アジア政治のあり方について学ぶ。具体的には、比較政治学の観点から、東南アジア各国の政治史を中心に、国家形成と国民統合をめぐる諸問題について検討しつつ、東南アジアの政治について深く理解する。本講義を通じて、比較政治学の分析枠組や分析手法を用いて、東南アジアの国家形成と国民統合の諸課題を概説できることを目指す。	総A217A 西暦偶数年度開講。 01DQ559, OABC305と同一。
01DF605	アジア政治論B	1	1.0	1・2					本講義では、東南アジア各国が抱える宗教とナショナリズムの問題について検討する。具体的には、比較政治学の観点から、フィリピン、タイ、インドネシア、マレーシアを事例として、各国の政治史から宗教と国民統合をめぐる問題について議論しつつ、東南アジアの政治について深く理解する。本講義を通じて、比較政治学の分析枠組や分析手法を用いて、東南アジアの宗教と国民統合の諸課題を概説できることを目指す。	総A217A 01DQ557, OABC306と同一。 2020年度開講せず。 西暦奇数年度開講。
01DF608	政策評価分析	1	1.0	1・2	春C	応談		松島 みどり	In this class, students will learn how policies and programmes influence our lives as individuals, families, and communities. Also, students will gain knowledge about policy and programme evaluation. We will explore actual examples from around the world using literature and critically discuss policy and/or programme issues at all levels of governmental and non-governmental policy regimes. Further, we will explore how the impact of a policy differs depending on the beneficiaries and which factors contribute to these differences.	OABC006と同一。 英語で授業。

専門科目(講義科目) 社会学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DF301	知識社会学I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		葛山 泰央	啓蒙と〈社会学的思考〉の系譜をテーマに、啓蒙以後の/社会学以前の〈社会学的思考〉の展開を再検討するなかで、制度の生成と変容の学問としての社会学が、それ自体としていかに生成し変容してゆくのかを探求することにした。	西暦偶数年度開講。
01DF303	医療社会学I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		奥山 敏雄	「社会学理論と医療社会学」をテーマに、医療社会学の代表的研究を取り上げながら、その基礎をなす社会学理論に立ち戻って、問題設定、概念枠組み、その射程と限界について概説する。	西暦偶数年度開講。
01DF307	逸脱行動論I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		土井 隆義	現代の青少年の逸脱行動の背景にある親密性の変容について考察をおこなう。現代の青少年の逸脱行動を社会的に考えるうえで、人間関係に対する彼らの社会的メンタリティの変化は非常に重要な要因となっている。この授業では、いわば人間関係論的な観点から、逸脱行動論の理論的枠組みの再構築を目指す。	西暦偶数年度開講。
01DF313	歴史社会学I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		野上 元	社会学において歴史的な研究をする意義は何か? という問いを共有しながら、歴史社会学の様々な「方法」を考える時間とした。	西暦偶数年度開講。
01DF315	都市社会学I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		五十嵐 泰正	グローバル化する都市や地域コミュニティを起点として、移動と定着の現代的な意味を考察する。	西暦偶数年度開講。
01DF340	労働社会学II	1	2.0	1・2					労働および関連諸領域の社会学的分析に必要な理論的・方法的検討を行う。	西暦偶数年度開講。 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DF345	国際社会政策論I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		ウラノ エジソン ヨシアキ	国際人口移動の加速化、通信網の発達、国際労働市場の再編により、社会政策が、国家を単位としたシステムとしては、公共政策に求められる社会保障、雇用、所得再分配などのニーズに応えられなくなってきている側面もある。こうした「矛盾」を念頭に、社会政策の新たな枠組みの必要性について、移民、貧困層にたいする所得再分配など、具体例を取り上げながら実証・理論両面から考察する。	西暦偶数年度開講。 01DP766、01DZ506と同一。 日本語と英語で授業 (Class is held both Japanese and English)
01DF390	教育社会学I	1	2.0	1・2	春AB秋AB	応談		黄 順姫	学校教育と学校外の社会教育を取り上げて、教育の社会的観点で学ぶことにする。1.学校教育では、全国の高校を対象に、進学率80%以上でなお難関大学進学率11%以上の超進学校から、大学進学率30%以下の非進学校に至るまでの学校間格差を5区分で分析し考察する。実証調査データを元に、生徒の学校格差と家族の経済格差・家族の文化階層の関係、生徒のキャリア・進路の決定時期、海外留学への希望、受験勉強、学校生活への取り組みの差異・格差を学ぶ。なお、学校間格差と同窓会・卒業生からの支援・援助の格差、社会的関係資本の差異、及び学校間格差と教員の意識・行動の差異の相関関係を考察する。2.学校外の社会教育では、中・高校生・大学生の若者が読む雑誌を通して身体文化の形成を、象徴的権力、ジェンダーの観点から学ぶ。3.学校の教育、学校外の社会教育に関する社会的考察を通して、若者の身体文化・下位文化、生き方の多様性を学ぶ。	西暦偶数年度開講。
01DF395	社会調査方法論III	1	1.0	1・2	秋ABC	集中		樽川 典子	この講義では、おもに社会学における従来の社会調査の歴史と意義を踏まえた上で、社会調査に関連するいくつかの問題領域と、各種の統計的調査の方法(データの収集と整理)や統計的分析法(データの分析)、さらには各種の質的調査の方法などそれらに関連する理論的・方法的な枠組みを概説するなかで、将来的な社会調査の実施に向けての、社会調査の設計に必要な知識と分析技能を修得することを目標とする。Aでは各種の統計的調査の方法や統計的分析法について学ぶ。	非常勤講師 西暦偶数年度開講。 OABC216と同一。

専門科目(演習科目) 国際関係分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DF222	国際政治学演習I	2	3.0	1・2	通年	応談		南山 淳	国際政治理論および方法論の最新研究動向を批判的に検討しながら、参加者の研究テーマを踏まえて修士論文執筆のための研究指導を行う。	西暦偶数年度開講。
01DF259	日本政治論演習I	2	3.0	1 - 3	通年	応談		竹中 佳彦	現代日本の政治、とくに政党や選挙を対象とし、それに関する文献を輪読して討論しながら、それを通して日本政治や政治学理論について理解を深め、実証分析や論文執筆の方法についても学ぶ。	2020年度より2年おき開講。 02DJ110と同一。
01DF262	政治哲学演習I	2	3.0	1・2	春AB 秋AB	金6 金5,6	3K325	コーヴェル チャールズ	This seminar focuses on themes in Western political thought in relation to contemporary public policy issues in the area of law, politics and economics. Selected Thema for seminar I: Equity and Justice.	2020年度より2年おき開講。 01DZ569、02DJ113と同一。 英語で授業。
01DF271	アメリカ政治論演習I	2	3.0	1・2	通年	応談		鈴木 創	アメリカの国内政治、特に選挙と政策形成過程に関する近年の文献を講読し、アメリカ政治の特質を考察する	2020年度より2年おき開講。 02DJ122と同一。
01DF274	アメリカ外交演習I	2	3.0	1・2	通年	応談		松岡 完	現代アメリカ外交について、さまざまな指導者・事件・外交戦略、対外政策などを取り上げ、その特徴や意義、問題点などを検証する。	2020年度より2年おき開講。 02DJ125と同一。
01DF484	ロシア・東欧論演習I	2	3.0	1 - 3	通年	応談		中村 逸郎	本講では受講生の研究テーマに基づいて、旧ソ連構成国及び東欧諸国の国内政治と外交政策について考察します。ロシア語の文献を読みますので、ロシア語の修得者が望ましい。	2020年度より2年おき開講。 02DJ310と同一。
01DF487	国際安全保障論演習I	2	3.0	1・2	通年	応談		赤根谷 達雄	国際安全保障問題の今日的課題と歴史、安全保障と関連するIR理論などを、演習形式で批判的に検討し、理解を深める。また各々の学生は、適宜、自身の研究テーマについて報告することが求められる。本演習では、研究の方法論と論文の執筆指導を行う。	2020年度より2年おき開講。 02DJ313と同一。
01DF490	国際法演習I	2	3.0	1・2	春AB秋AB	応談		吉田 脩	国際法学の特に理論的な側面に係る諸問題につき、演習及び論文指導を行う。	2020年度より2年おき開講。 02DJ351と同一。 履修希望者は担当教員と連絡をとること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DF551	中国政治外交論演習IA	2	1.5	1・2	春ABC	応談		毛利 亜樹	アジア太平洋の国際関係や外交・安全保障問題に関心を持ち、中国ファクターを検討する学生を対象とします。中国政治外交論も併せて受講されたい。This subject is designed for doctoral course students examine China factor and those who are interested in IR in the Asia-pacific, foreign and security policy. The students are expected to take 中国政治外交論, too.	西暦偶数年度開講。
01DF552	中国政治外交論演習IB	2	1.5	1・2	秋ABC	応談		毛利 亜樹	アジア太平洋の国際関係や外交・安全保障問題に関心を持ち、中国ファクターを検討する学生を対象とします。中国政治外交論も併せて受講されたい。This subject is designed for doctoral course students examine China factor and those who are interested in IR in the Asia-pacific, foreign and security policy. The students are expected to take 中国政治外交論, too.	西暦偶数年度開講。
01DF557	ヨーロッパ国際関係演習I	2	3.0	1・2	通年	応談		東野 篤子	欧州連合(EU)および北大西洋条約機構(NATO)などを中心としたヨーロッパの機構と、それらをめぐるヨーロッパの国際関係に関する論文を準備のための指導を行う。	2020年度より2年おき開講。 02DJ307と同一。
01DF560	国際文化論演習I	2	3.0	1・2	通年	応談		前川 啓治	文化人類学に関する方法論と理論という観点から、演習と論文指導を行う。受講生の発表と質疑応答が主となる。	2020年度より2年おき開講。 02DJ330と同一。
01DF563	開発人類学演習I	2	3.0	1・2	通年	応談		関根 久雄	途上国ならびに日本国内における社会開発や地域振興に関する人類学的研究テーマを設定する学生を主対象とする。参加学生には、毎学期研究発表を課す。	2020年度より2年おき開講。 02DJ333と同一。
01DF569	文化変動論演習I	2	3.0	1・2	通年	応談		鈴木 伸隆	グローバルな政治経済システムとの連関に着目しながら、文化変動に関する諸問題を対象に演習を行う。日本語で講義を行う。	2020年度より2年おき開講。 02DJ345と同一。
01DF578	社会科学方法論演習III	4	2.0	1・2	春AB	水5,6	3B203	キンボ ネイサン ギルバート	This seminar aims to help Master's/Ph.D. students in the social sciences gain a thorough understanding of research methods and academic writing, as preparation for writing their Master's theses / Ph.D. dissertations. The course covers such topics as academic writing and social science research; choosing a research topic/focus; problem formulation; research proposal making; literature review; theoretical framework; methods and methodologies; formulation of the argument or findings; the main writing phase; and thesis presentation and defense. Students will also be taught about the style, mechanics, organization, sourcing, and formatting of an academic thesis.	01DP805, 01DZ568と同一。 英語で授業。
01DF585	社会科学方法論演習I	2	1.0	1・2	秋AB	火3	3K326	中村 健史	本演習の目的は社会科学全般に共通する方法論に習熟することによって、学位論文を方法論の観点からブラッシュアップすることにある。文献講読による方法論の習得と、研究計画の発表および議論を並行して進める。本演習を通じて社会科学方法論を体系的に理解するのみならず、方法論的側面における自らの研究の限界と意義を実践的に理解することが期待される。授業は履修者に応じて日本語ないし英語(または両方)で行われる。	日本語ないし英語で実施(Class is held either Japanese or English)。
01DF652	政策評価分析演習A	2	1.0	1・2	秋AB	月4	3K427	松島 みどり	In this class, students will learn impact evaluation methods using data. This class will begin with learning how to set evaluation questions and move on to quantitative analysis. Regarding evaluation methodologies, students will learn: causal inference and counterfactuals, randomized selection methods, regression discontinuity design, difference-in-differences, and matching. Students will be given homework and assignments to advance their understanding and research skills.	西暦偶数年度開講。 0ABC624と同一。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DF654	中東・北アフリカ研究演習IA	2	1.0	1・2	春AB	金5	3K426	柏木 健一	開発経済学のアプローチや主要理論を理解するとともに、天然資源や水資源の制約、人口増と人口転換、国際的労働移動などの中東・アフリカ経済の主要課題を演習形式で学習する。特に、他の途上国経済との比較分析を通して、中東・北アフリカ経済の構造とメカニズムを考察する。また、学生の研究テーマに応じて、修士論文の指導を行う。学生は、問題設定や仮説、分析枠組、使用するデータを含む修士論文の研究計画について報告する。	西暦偶数年度開講。 OABC808と同一。
01DF655	中東・北アフリカ研究演習IB	2	1.0	1・2	秋AB	金5	3K426	柏木 健一	開発経済学における理論モデルや実証分析の方法を学ぶとともに、資本蓄積と技術進歩の停滞、所得・賃金格差拡大、労働市場の不均衡等を含む中東・北アフリカ経済の主要課題を演習形式で学習する。特に、中東・北アフリカ経済を含む途上国経済の実証分析のレビューを基に、中東・北アフリカ経済の特殊性を理解する。また、学生の研究テーマに応じて、修士論文の指導を行う。学生は、使用するデータや分析結果と考察を含む修士論文の進捗について報告する。	西暦偶数年度開講。 OABC809と同一。

専門科目(演習科目) 社会学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DF355	知識社会学演習I	2	3.0	1-3	通年	応談		葛山 泰央	啓蒙と〈社会学的思考〉の系譜をテーマに、啓蒙以後の社会学以前の〈社会学的思考〉の展開を再検討するなかで、制度の生成と変容の学問としての社会学が、制度の複合的連関を観察する(制度)として、いかに生成し変容してゆくのかを探究する。	2020年度より2年おき開講。 02DJ201と同一。
01DF358	医療社会学演習I	2	3.0	1・2	通年	応談		奥山 敏雄	医療社会学の代表的な研究および医療社会学に関連する社会学理論の基礎文献を輪読するとともに、各自が設定したテーマに基づいて研究報告と論文作成指導を行う。	2020年度より2年おき開講。 02DJ204と同一。
01DF364	逸脱行動論演習I	2	3.0	1・2	通年	応談		土井 隆義	現代の青少年の逸脱行動の背景にある親密性の変容についての研究報告をおこなう。現代の青少年の逸脱行動を社会的に考えるうえで、人間関係に対する彼らの社会的メンタリティの変化は非常に重要な要因となっている。この授業では、いわず人間関係論的な観点から、逸脱行動論の理論的枠組みの再構築に関する研究報告とそれにもとづいたディスカッションによって各自の研究能力の育成を目指す。	2020年度より2年おき開講。 02DJ210と同一。
01DF370	歴史社会学演習I	2	3.0	1・2	通年	応談		野上 元	歴史社会学の古典/現代的な作品について検討する。それぞれの書物の単なる内容紹介ではなく、参加者の論文執筆を念頭に置きながら、研究者によってどのようにテーマが課題として浮かび上がり、いかなるデータと方法によってそれが歴史社会学的な記述へと仕上がりつついったのかについて考えることにしたい。	2020年度より2年おき開講。 02DJ219と同一。
01DF373	都市社会学演習I	2	3.0	1・2	通年	応談		五十嵐 泰正	グローバル化する都市の重層的な営みを分析する視点を涵養し、社会的な調査を論文執筆という成果につなげる方法論を検討する。	2020年度より2年おき開講。 02DJ222と同一。
01DF376	労働社会学演習I	2	3.0	1・2					労働および関連諸領域の社会的分析に必要な理論的・方法的検討を通じて、独自性のある研究論文の執筆を目指す。関連する諸文献を検討するとともに、各自の研究報告をもとにした討論を行う。	2020年度より2年おき開講。 02DJ225と同一。 2020年度開講せず。
01DF379	国際社会政策論演習I	2	3.0	1・2	通年	応談		ウラノ エジソン ヨシアキ	国際人口移動の加速化、通信網の発達、国際労働市場の再編により、社会政策が、国家を単位としたシステムとしては、公共政策に求められる社会保障、雇用、所得再分配などのニーズに答えられなくなっている側面もある。こうした「矛盾」を念頭に、社会政策の新たな枠組みの必要性について、移民、貧困層にたいする所得再分配など、具体例を取り上げながら実証・理論両面から考察する。	2020年度より2年おき開講。 01DZ599、02DJ228と同一。 日本語と英語で授業 (Class is held both Japanese and English)
01DF383	教育社会学演習II	2	3.0	1・2	通年	応談		黄 順姫	教育社会学における今日の学校教育の問題に関する論文、書物を輪読し、討論を行う。教育社会学(博士前期課程)の講義にも参加し、特別演習でより深く考察・分析・議論を行っていくことが望ましい。	2020年度より2年おき開講。 02DJ232と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01DF397	社会調査方法論演習I	2	1.0	1・2	秋ABC	集中		樽川 典子	この演習では、おもに社会学における従来の社会調査の歴史と意義を踏まえた上で、社会調査に関連するいくつかの問題領域と、各種の統計的調査の方法(データの収集と整理)や統計的分析法(データの分析)、さらには各種の質的調査の方法などそれらに関連する理論的・方法的な枠組みを概説するなかで、将来的な社会調査の実施に向けた、社会調査の設計を行うことを目標とする。Aでは各自の問題関心・問題意識に基づき、各種の統計的調査の方法や統計的分析法を踏まえた社会調査の設計を行う。	非常勤講師 西暦偶数年度開講。 OABC716と同一。